

# 集約型都市形成のための計画的な緑地環境形成実証調査

人口減少、少子高齢化等を踏まえ、今後、集約型都市構造化を進めるにあたり、緑地・農地等と調和したまちづくりを実現するため、緑・オープンスペースの確保や合理的な土地利用転換等に対応した取組みを即地的に検討する直轄調査を行う。

## 調査の流れ

即地的な検討を行うため、地方公共団体等への委託による国の直轄調査を実施する。

集約型都市構造化を進めるにあたって必要となる緑とオープンスペースの確保等の課題に対応した取組を地方公共団体等から公募

地方公共団体等が取組を提案

第三者委員会により提案を選定

地方公共団体等と委託契約を締結し、現地に即した実証調査を実施

## 対象地と調査内容のイメージ

地域における緑地・農地の保全・活用によるみどりと調和したまちづくりに関する課題解決に向けた取組みの実施

### 課題例①

市街地の中心部など都市の拠点となる地域内における緑地の確保と適切な土地利用転換の促進

#### (取組例)

- ・将来的に必要な緑・オープンスペースの必要量の検討や効果的な活用手法の検証に関する取組
- ・緑・オープンスペースの確保や適切な土地利用転換を図るために必要な、地区計画や協定等地域住民の合意に基づくまちづくりの手法の検討に関する取組
- ・企業等多様な主体との連携による新たな緑地の創出及び維持管理の仕組み作りのための共通理解の促進に関する取組



企業による緑地の創出と維持管理

地域の緑の共同管理に関するワークショップ



### 課題例②

都市の拠点となる地域周辺における緑地・農地の適切な保全による都市機能の拡散の抑制及び低密な市街地形成の誘導

#### (取組例)

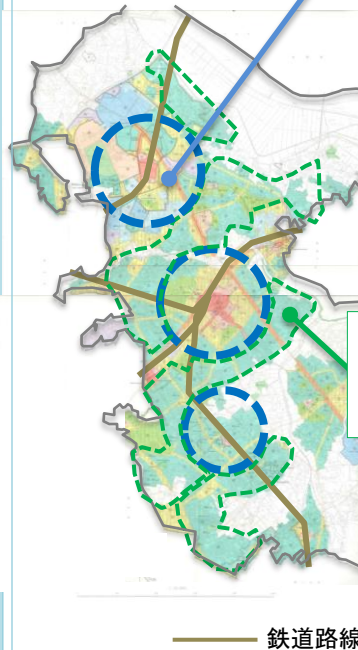
- ・崖線等の都市構造を規定する緑地の保全を通じた市街地の拡散の抑制の検証に関する取組
- ・市街地の質の低下をもたらす土地利用を抑制し、適切な利活用を図るための協定等の手法の検討・実証に関する取組
- ・地域住民を含む多様な主体と連携した、屋敷林、社寺林、生産緑地等の保全のための手法や理解の促進に関する取組



地域の合意に基づく緑地・農地の保全のルール検討



地域と連携した屋敷林管理



鉄道路線

# 集約型都市形成のための計画的な緑地環境形成実証調査

## 募集概要

### [募集内容]

集約型都市構造化の推進に当たって必要となる、地域における緑地・農地の保全・活用によるみどりと調和したまちづくりに関する課題の解決に向けた取組の提案

(課題例)

- 市街地の中心部など都市の拠点となる地域内における緑地の確保と適切な土地利用転換の促進
- 都市の拠点となる地域周辺における緑地・農地の適切な保全による都市機能の拡散の抑制及び低密な市街地形成の誘導

### [応募主体]

- 地方公共団体
- 地方公共団体を構成員に含む団体(協議会等)

### [委託経費]

1件あたりの上限額:原則1,000万円程度

### [採択件数]

予算の範囲内で採択

### [委託期間]

契約締結時～平成26年3月上旬

## スケジュール

応募書類提出期間	平成25年4月1日(月) ～5月9日(木)17:00
評価委員会の開催	(5月中～下旬)
選定結果の通知	(5月下旬)
契約の締結	(6月上旬)
取組結果の報告会	(平成26年2月中～下旬)

※平成25年度当初予算の成立時期によっては、変更が生じる可能性があります。

## 提案の評価方法

以下の評価方針に基づき、有識者からなる評価委員会で評価する。

- 地域における緑地・農地の保全・活用によるみどりと調和したまちづくりの方針及びそれとの整合性
- 提案する取組の課題解決効果、先導性、汎用性
- 応募団体の実行力